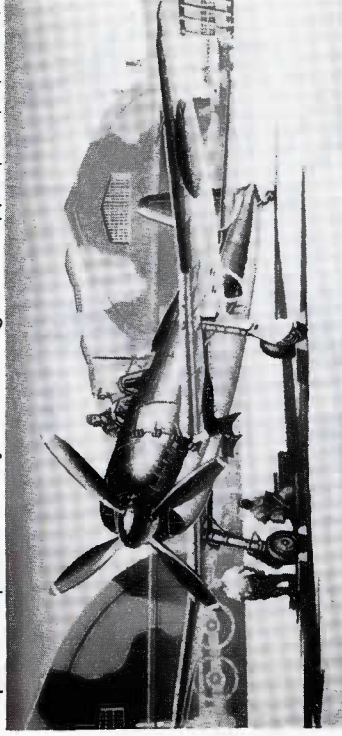


# 帝国海軍 艦上戦闘機 烈風 一一型

Imperial Japanese Navy Carrier Fighter "Reppu (Sam)" (A7M2)



## 1 72 FP-8



昭和19年4月19日に完成した「試製烈風」(A7M1)は非凡な性能を秘めながら速度と上昇力が目標の値を大きく下まわったために8月4日 生産中止命令が出た。三菱にとっても衝撃的だったが、機体の設計に自信を持つ堀越技師は希望を失わなかった。鈴鹿に駐在していた監督官(工場で作られた飛行機を頒収する職務) 山田大尉の協力を得て中島、川西から資料を取り寄せて調査すると「彩雲」「紫電改」何れの「誉」エンジンも試作時に比べ量産型は性能が劣っている事が判明した。これを基に堀越技師は空技廠に烈風のエンジンを三菱製のMK9Aに載せ代える様に交渉したが、空技廠はその必要性を認めなかった。そのため、三菱は全て自社のリスクで試製烈風6号機に新エンジンを搭載したテストを開始し 空技廠もその熱意に負けて試験を黙認した。

完成を急ぐため、改修作業は最小限とし、エンジンの交換に重点が置かれた。ハ-4 3 (MK9Aの陸海軍共通名称)は「誉」に比べ外径が50mm大きいので 油冷却用と酸化器の空気取り入れ口はカウリングの外に付けられた。強制冷却ファンも外されて機首部分のスマートさは「誉」搭載時より失われた。

垂直尾翼も再設計されてラダー面積が増し 水平尾翼はM1-2号機で好成绩を得た先端を300mm切断したタイプを採用した。担当員の骨身を惜しまぬ努力の結果、予定通り10月上旬にA7M2の1号機は完成し 10月13日よりテスト飛行に入った。13日の空輪を担当した柴山操縦士はこの時早くも離陸、上昇、速度性能が格段に向上している事を認めた。その後約10回の飛行試

験で最高速度は高度5800mで628km/hに達し 上昇力も6000mまでに6~7分と大幅に性能が向上している事を海軍側も確認した。「試製烈風」の開発時、堀越技師は「空戦フラップ」は信頼性が低いので装着に慎重だったが、M2に川西が実用化したフラップを付けて実験すると 空戦性能は「霧」に匹敵する事が判明した。

領収飛行を担当した小福田少佐は「現時点で得られる最高の機体。緒戦時に於ける零戦の再来」と称賛を惜しまなかった。

昭和20年6月 A7M2は「烈風一一型」として正式採用され、7月中旬大量生産に移行した。しかし 前年12月7日の東海大地震とB-29による度重なる空襲のために生産は進まず 1機の量産機も完成しないまま終戦を迎えた。「本機の出現がもし1年早かったならば 戦局はいくらか違っていたであろう」と 出現の遅れを惜しむ声も各方面から聞かれた。

そして「烈風」と言う名は「幻の名機」「最後の艦戦」として今でも我々の記憶に残っている。

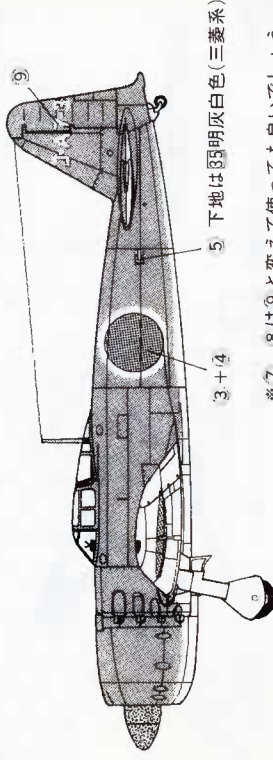
### 諸元 Specification

全幅 Wingspan	.....14,000m
全長 Length	.....10,984m
全高 Height	.....4,28m
翼面積 Wing area	.....30,86m <sup>2</sup>
自重 Empty weight	.....3,266kg
全備重量 Loaded weight	.....4,720kg
発動機 Power plant	.....ハ-43 11型 Ha-43 Type11
離昇出力 Output for take-off	.....2,100hp
最大速度 Max. speed	.....628km/h
武装 Armament	.....20mm × 4
機体寸法 Dimensions	.....30~50kg × 2

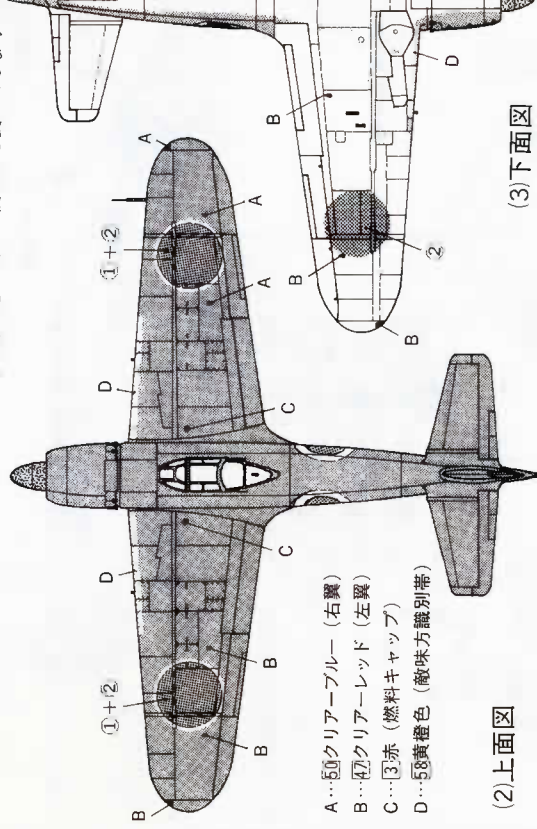
## 《烈風一一型 (A7M2) の塗装》

- 上、側面.....[4]暗緑色 (三菱系)
- 下面.....[5]明灰白色 (三菱系)
- スピナー.....[1]赤褐色。
- アンテナ支柱.....[4]レッドブラウンまたは上面色

(1)側面図...空技廠領収3号機 (A7M2、4号機)、終戦時、青森県三沢基地



※7、8は9と変えて使っても良いでしょう



(2)上面図

(3)下面図

- A...50クリアーブルー (右翼)
- B...70クリアーレッド (左翼)
- C...3赤 (燃料キヤップ)
- D...50黄橙色 (敵味方識別帯)

〔解説〕

烈風一一型は公表されている写真から判断すると 試作機の段階から量産機と同様、つまり上、側面...濃緑色、下面...明灰白色の塗装をしていた様です。機体番号の「コ」は空技廠の正式名「航空技術廠」の頭文字、「A」は艦上戦闘機、「7」はその7番目 (A5は九六艦戦、A6は零戦) 「3」は頒収された3番目の機体を示します。

### 烈風一一型

A	.....	1000円
B	.....	1000円
C	.....	800円
透明部品	.....	400円
デカール	.....	600円

For Japanese only

FP-8

部品を請求される方は、氏名、住所、電話番号を1字ずつはつきり書き 機のカードの必要部品を...かこみ代金を現金書留又は定額為替にて 当社アフターサービス係までお申し込み下さい。

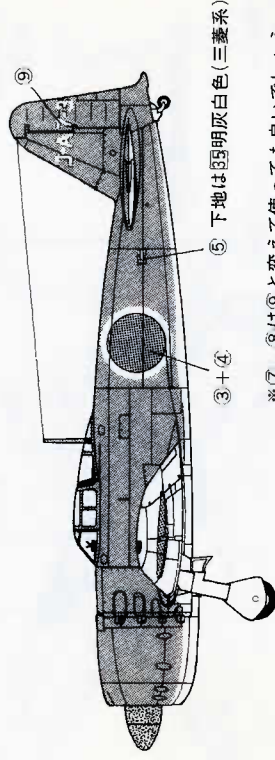


〒441-31 豊橋市雲谷町字上ノ山65-69  
TEL:0532>41-7486

## 《烈風一—型 (A7M2) の塗装》

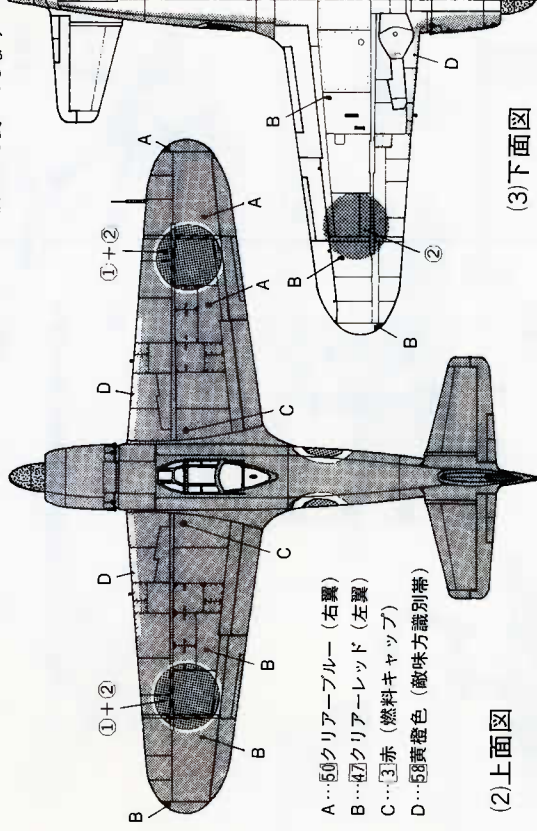
上、側面……④暗緑色 (三菱系)  
 下面……⑤明灰白色 (三菱系)  
 スピナー……③赤褐色。  
 アンテナ支柱…④レッドブラウンまたは上面色

(1)側面図…空技廠領収3号機 (A7M2、4号機) 終戦時、青森県三沢基地



③+④ ⑤ 下地は⑤明灰白色 (三菱系)

※⑦、⑧は⑨と変えて使っても良いでしょう



(2)上面図

(3)下面図

A…⑤0クリアブルー (右翼)  
 B…④7クリアレッド (左翼)  
 C…③赤 (燃料キャップ)  
 D…⑤8黄橙色 (敵味方識別帯)

### 〔解説〕

烈風一—型は公表されている写真から判断すると 試作機の段階から量産機と同様、つまり上、側面…濃緑色、下面…明灰白色の塗装をしていた様です。機体番号の「コ」は空技廠の正式名「航空技術廠」の頭文字、「A」は艦上戦闘機、「7」はその7番目 (A5は九六艦戦、A6は零戦) 「3」は領収された3番目の機体を示します。

### 烈風一—型

A	1000円
B	1000円
C	800円
透明部品	400円
デカール	600円

For Japanese only

FP-8

**Finemolds**

〒441-31 豊橋市雲谷町字上ノ山65-69  
 ☎ 0532-41-7486

## 《作る前にお読みください》

- ◆このキットには接着剤が入っていません。別にお買い求め下さい。接着剤は「液状タイプ」をお勧めします。胴体や主翼など広い部分の接着剤には「溶剤タイプ」の接着剤が向いています。
- ◆各部の塗装は、グンゼ産業のMr.カラーの番号と色名で指示しています。
- ◆接着剤や塗料を使うときは、火気を避け 時々窓を開けて換気をお願いします。
- ◆組み立ては、説明書を良く読んで間違いの無いようにしましょう。

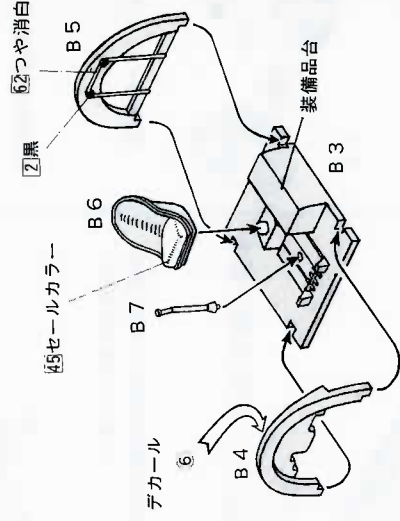
### ◎ 装備品の塗装



⑧銀

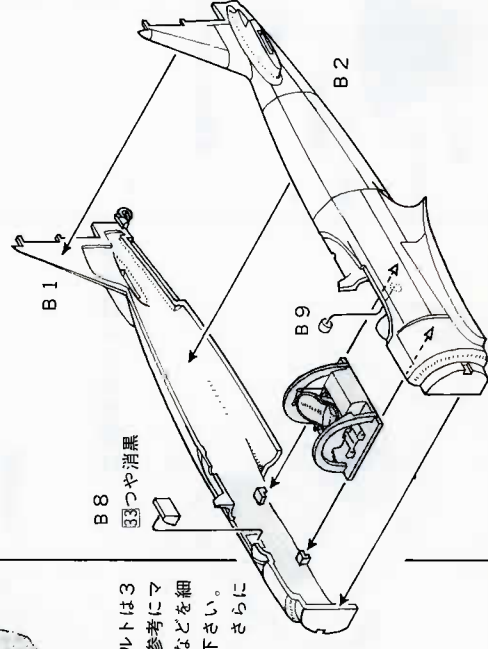
※下地は⑧コックピット色 (三菱系)。  
 指定以外は全て②黒に塗って下さい。

### ① コックピットの組立



※コックピットは⑧コックピット色 (三菱系)で塗って下さい

### ② 胴体の組立

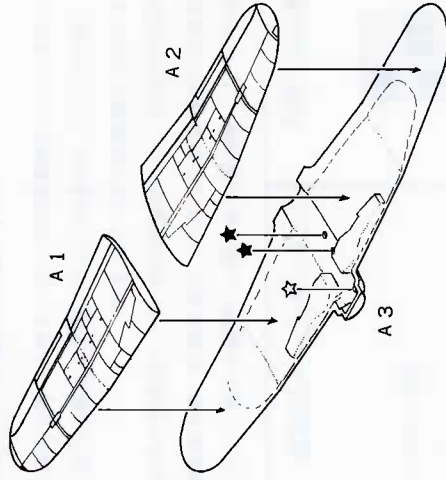


※烈風のシートベルトは3点式です。図を参考にマスキングテープなどを細く切って貼って下さい。④4タンで塗ると さらに良くになります。



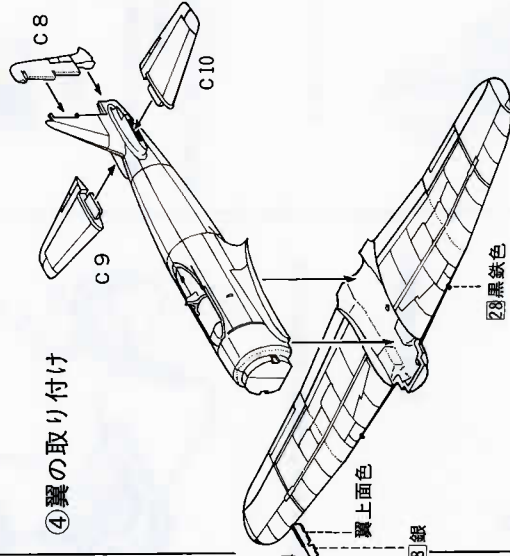
☆シートベルト

### ③主翼の組立



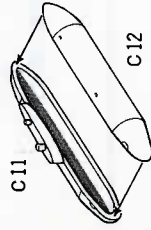
☆必ず穴を開けて下さい。  
★落下タンクを着ける時のみ穴を開けて下さい。

### ④翼の取り付け



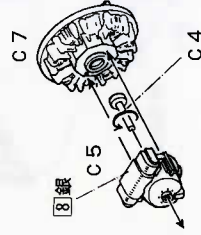
翼上面色  
28黒鉄色

### ○落下タンクの組立



※下面色または8銀

### ○エンジンの組立

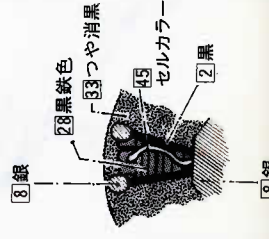


※C4に接着剤が着かないようにしましょう。

B24

8銀

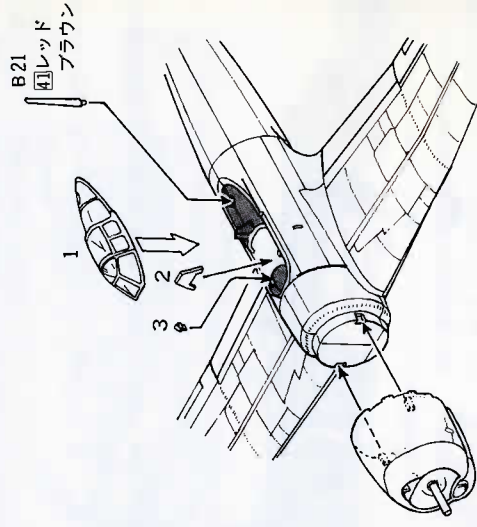
### ○エンジンの塗装



28黒鉄色  
33つや消黒

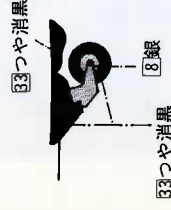
45セルカラー  
2黒

### ⑥カウリングと風防の取り付け



※風防内部の胴体上面は45カウリング色に塗って下さい

### ◎尾輪の塗装



33つや消黒

8銀

### ○防弾ガラスの取り付け

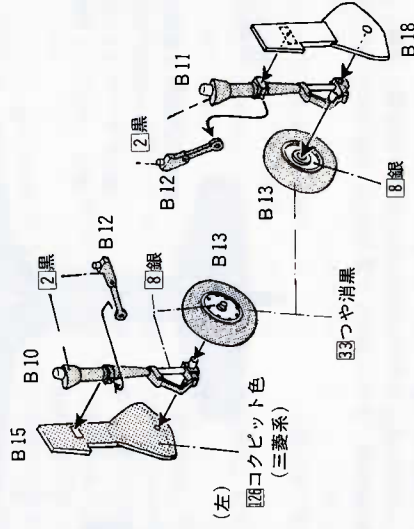
外側のみ  
45コクピット色  
(三菱系)

レンズの部分  
を除いて

33つや消黒

45カウリング色

### ⑦車輪の組立



(左)  
45コクピット色  
(三菱系)

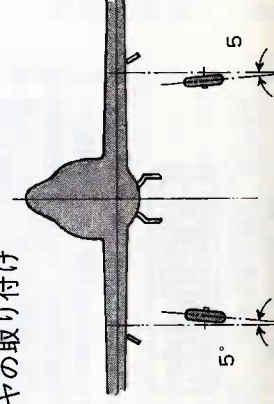
33つや消黒

8銀

※図は後方から見たものです

(右)

### タイヤの取り付け



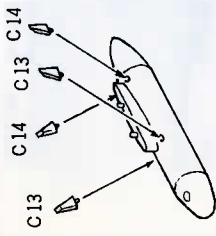
※タイヤは図のように5度傾けて接着して下さい。

※脚カバー、タイヤカバーは図を参考に接着して下さい。内側は基本的に45コクピット色(三菱系)ですが、8銀の可能性も有ります。

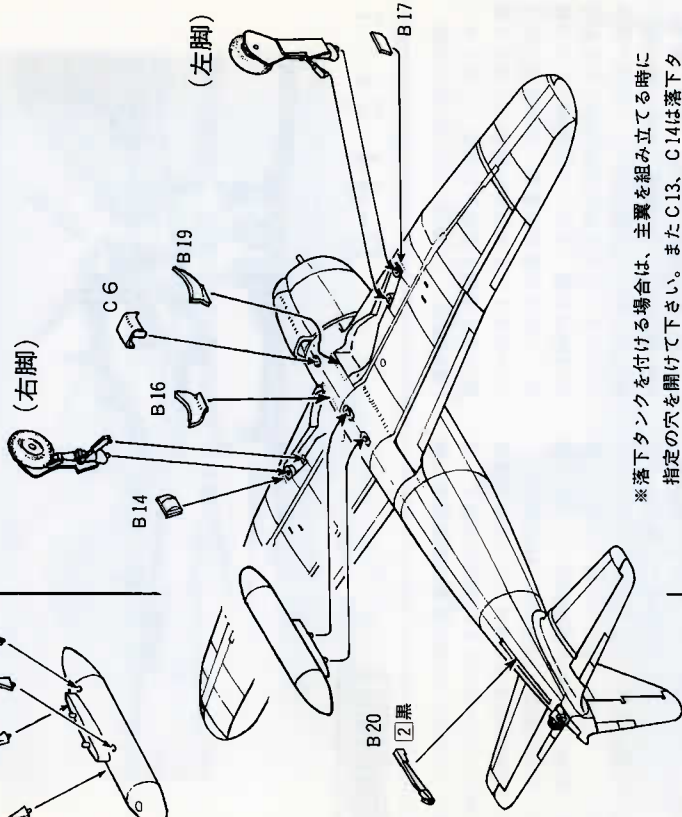
※脚取納孔内部は機体下面色もしくは8銀です。

※カウリング内部は33つや消黒に塗って下さい

◎振れ止めの取り付け



◎車輪の取り付け



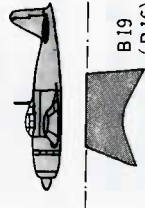
※落下タンクを付ける場合は、主翼を組み立てる時に指定の穴を開けて下さい。またC13、C14は落下タンクを取り付けたあとで取り付けして下さい。

※こちらが前になります。



B17(B14)

◎タイヤカバールの方向



B19 (B16)



※プロペラは昭和18年秋以降、表裏とも⑧赤褐色に塗られました。裏には⑨のように⑩黄褐色の線が入ります。

《作る前にお読みください》

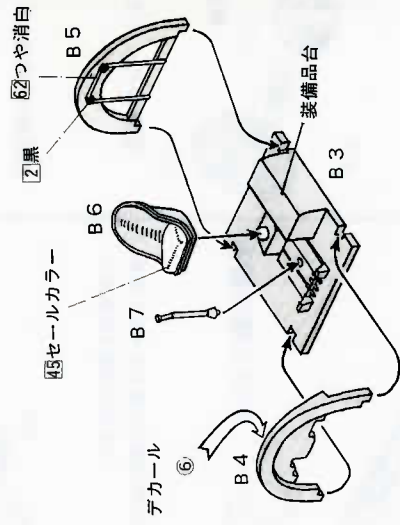
- ◆このキットには接着剤が入っていません。別にお買い求め下さい。接着剤は「液状タイプ」をお勧めします。胴体や主翼など広い部分の接着剤には「溶剤タイプ」の接着剤が向いています。
- ◆各部の塗装は、グンゼ産業のMrカラーの番号と色名で指示しています。
- ◆接着剤や塗料を使うときは、火気を避け 時々窓を開けて換気をお願いします。
- ◆組み立ては、説明書を良く読んで間違いないようにしましょう。

◎装備品の塗装



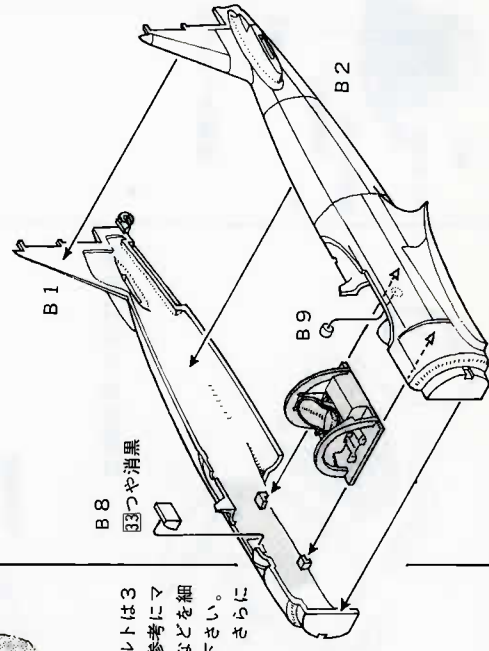
※下地は④コックピット色(三菱系)。指定以外は全て②黒に塗って下さい。

①コックピットの組立



※コックピットは④コックピット色(三菱系)で塗って下さい

②胴体の組立

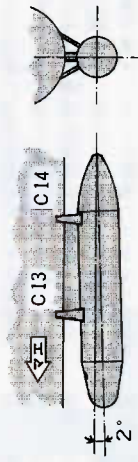


※烈風のシートベルトは3点式です。図を参考にマスキングテープなどを細く切って貼って下さい。④タンクで塗ると さらに良くなります。

☆シートベルト



◎落下タンクの取り付け



◎プロペラの取り付け

